

2007 年度

科目名 総合演習Ⅱ	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者 た な か たかはる 田中 孝治
授業テーマ ・「人類共通の諸テーマ及び我が国社会全体にかかわる諸テーマ」 (課題設定) (「総合的な学習」の研究)		
授業の概要と目標 ・21世紀を生きる人々は、「地球市民」として生きることが求められる。将来、人々の教育や福祉の進展に寄与しようとする者は、それに相応しい地球的視野に立つて行動するための資質能力を備えることが重要である。総合演習Ⅱにおいてはその端緒として、主に日本の文化について自らが課題を設定し、課題解決的な学習方法や体験的な学習の方式を採用入れた主体的な学習活動を展開し、資質や能力の向上を図る。 加えて「学び合うこと」を通し、ゼミ学友との絆を深める。		
評価方法 ・出席（学習活動の参加度）や主体的な行動・実践姿勢を最重視する。主体的、体験的に身につけるべき資質能力の形成努力や成長の姿をもとに「自己評価」を行い、担当教員による指導評価と合わせ、総合的に評価する。		
テキスト ・なし。(学習資料・学習情報を、適宜提供する)	著者	出版社
参考書 ・適時紹介をする。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
講	学 習 の 活 動	
1	・大学生活について（学識と教養の深まりを求めて）	
2 ・ 3	・総合演習Ⅱや学校の「総合的な学習」の意義、その研究方法を理解する。 （課題の設定・研究目標・研究内容・研究方法と研究の計画・まとめ方等） 主として日本の文化について探求したい課題を探る。	
4	・自分の課題研究について発表し、意見交換をする。 課題別研究班（3～4名）を編成する。	
5	・班ごとに研究の進め方を決める。 体験的・課題解決的な学習方法による研究の計画	
6・7	・班の課題追求、実地の調査・見学や体験参加、資料収集・記録等について検討する。 （研究目的・内容・方法等の確認）	
8・9	・担任への報告と承認（実地調査・研究計画書の提出） ・班別研究活動と研究報告文の作成	
10	・研究報告会（報告文提出）	
11 ・ 12	・「体験的・課題解決的な学習」のまとめ、発表資料の作成。 （文集・かへ新聞・イラストパネル・見聞録パンフレット等）	
13 14	・発表交流（プレゼンテーションと質疑応答）	
15	・総合演習の学習意義と自己育成について。 ・学習自己評価をする◇3回生に向けて	